

マーケットの動き（2024年8月26日～8月30日）

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

週初はFRB（米国連邦準備制度理事会）パウエル議長の9月の利下げを示唆する発言から円高・円安が進行したことで輸出関連株が売られ株価は下落しました。その後は米半導体大手の決算を控え、様子見ムードが続きました。決算発表後は半導体関連株が売られる場面もありましたが、NYダウが史上最高値を更新したこともあり、幅広い銘柄が買われ株価は上昇しました。

投資環境見通し（2024年8月）

国内株式相場は調整一巡後は底堅く推移

企業業績については、堅調な設備投資や個人消費の回復を背景に、改善傾向が続くとみえています。国内株式相場は日銀によるさらなる追加利上げを巡る懸念に加えて、米国景気を巡る先行き不透明感が下押し圧力と考えられますが、企業業績の改善に加えて、高水準の自社株買いに支えられ、次第に底堅く推移するとみえています。

	8月30日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	2,712.63	1.04%	▲1.52%	1.38%	17.26%
日経平均株価	38,647.75	0.74%	0.32%	▲1.32%	19.53%

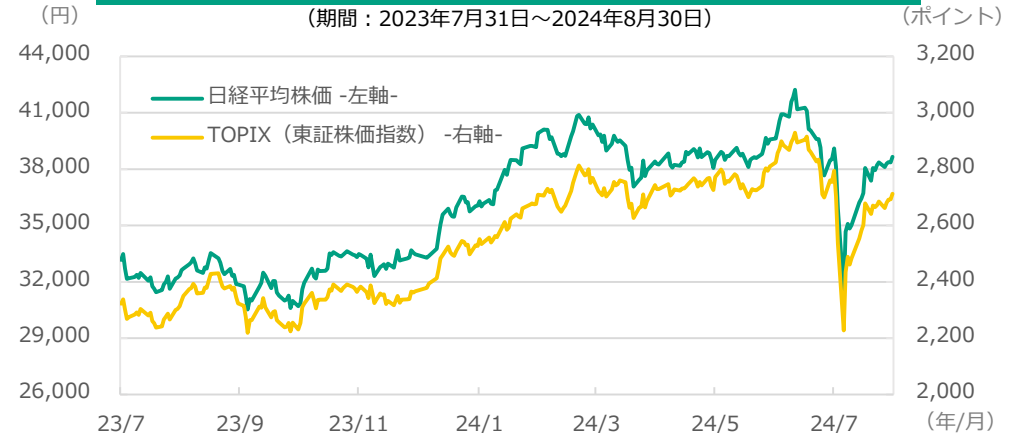
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202408_outlook.pdf

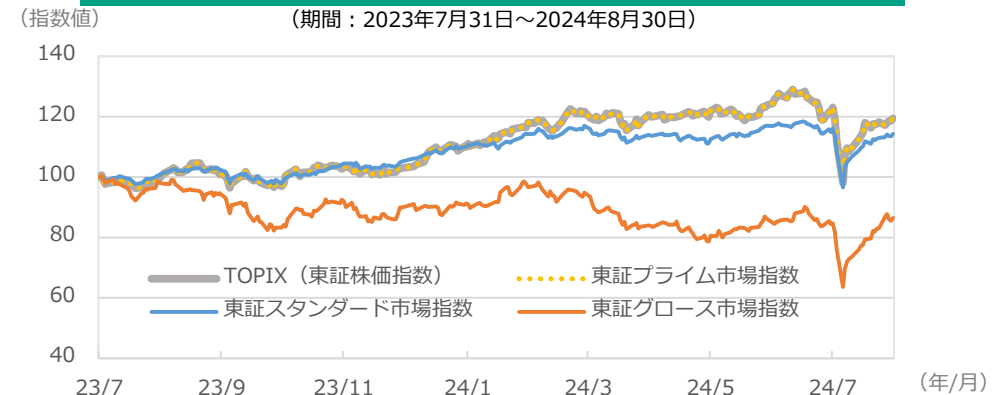
日経平均株価、TOPIXの推移

（期間：2023年7月31日～2024年8月30日）



東証市場別指数の推移

（期間：2023年7月31日～2024年8月30日）



※2023年7月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>